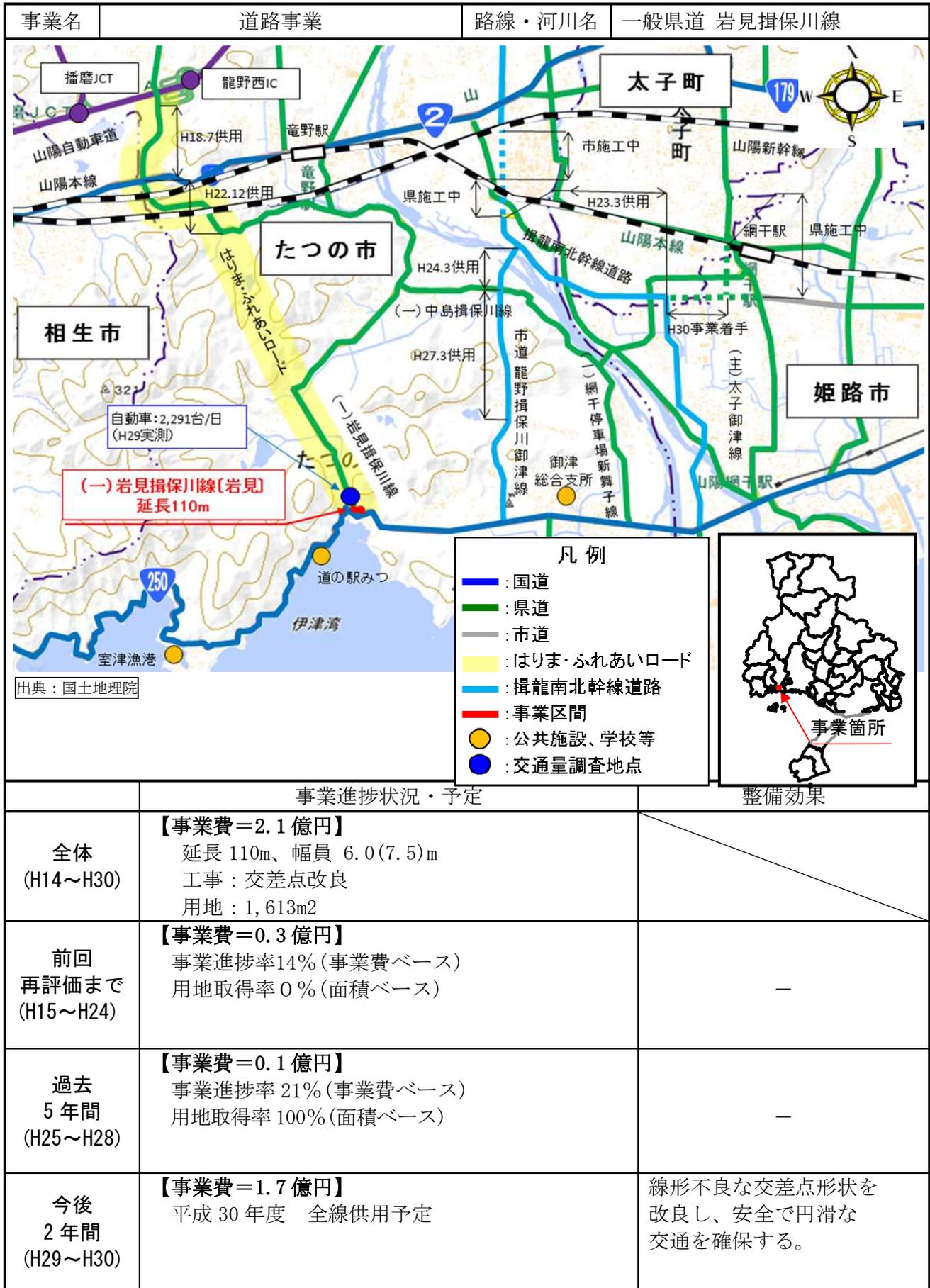


投資事業評価調書（継続：再評価〔第2回〕）

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 上田 浩嗣 (県道班長 長央 貴晴)	内線	4362 (4376)
事業種目	道路事業	新規評価年度	平成14年度		現計画
事業名	一般県道 いわみほがわ 岩見揖保川線	事業採択年度	平成15年度	総事業費	2.1億円
		着工年度	平成19年度	内用地補償費	0.02億円
		再評価年度	平成24年度	完成予定年度	平成30年度
事業区間	たつの市御津町岩見			進捗率 (内用補進捗率)	21% (100%)
				残事業費	1.7億円
事業の目的			事業内容(): 前回評価時点		
<p>本路線は、国道250号と国道2号を南北に結ぶ幹線道路であり、山陽自動車道龍野西ICと国道250号を結ぶ「はりま・ふれあいロード」の構成路線である。</p> <p>○安全で円滑な交通の確保 国道250号に接続する線形不良の交差点を改良し、安全で円滑な交通を確保する。</p> <p>○産業・経済基盤等の強化 内陸部から臨海部の産業拠点や観光施設へのアクセスを強化する。</p>			<p>【延長】110m</p> <p>【構造規格】第3種第3級</p> <p>【幅員】 計画：2車線 車道6.0m〔全幅7.5m〕</p> <p>【計画交通量】1,900台/日〔H42年予測〕</p> <p>【現況交通量】 自動車：2,291台/日〔H29年実測〕 (2,780台/日〔H21年実測〕)</p> <p>【負担割合】国55%、県45%</p>		
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	<p>①平成22年に道の駅みつが開設し、開設以来利用客数が年間25万人を維持するなど、地域の活性化に寄与している。そのため、山陽自動車道からのアクセス強化となる当交差点の線形改良の必要性が増している。</p> <p>【前回評価時点からの事業計画の変更概要】</p> <p>①用地取得において、土地の境界確定に時間を要したため、完成予定年度を平成30年度とする。</p>				
進捗状況	<p>①進捗率は事業費ベースで21%(平成29年度末)、用地取得は100%(平成28年度末)。</p> <p>②平成29年度より工事着手し、平成30年度完成を目指す。</p>				
評価視点	評価結果の説明				
審査会意見 (H24)及び 対応方針	【審査会意見】 継続妥当 意見なし		【対応方針】 —		
(1)必要性	<p>①本路線は鋭角に国道250号と交差しており、乗用車でも対向車線にはみ出さないと曲がることのできない危険な状況である。平成20～24年の5年間に、交通事故が4件発生していたが、平成25～29年7月末までに12件発生している。このため、交差点改良を行い、安全で円滑な交通を確保する。</p> <p>②かき等水産物の水揚げが盛んな室津漁港や、平成22年にオープンした「道の駅みつ」など、臨海部の産業拠点・観光施設へのアクセスを強化し、地域産業の活性化に寄与する。</p>				
(2)有効性 ・効率性 (執行環境状況)	<p>①用地取得が完了しており、地元の協力体制など事業執行環境は整っている。</p> <p>②地元自治会から早期整備への強い要望がある。</p>				
(3)環境適合性	①切土法面については、在来種等による植生の復元を図り、周辺環境の保全に配慮する。				
(4)優先性	①安全で円滑な交通の確保のため、早期に事業を完了させる必要がある。				
再評価 の結果	継続	理由	①事業の必要性は事業採択時と変わらず、当該箇所の早期供用を望む地元の声が強 いことから、継続して事業を実施する必要がある。		

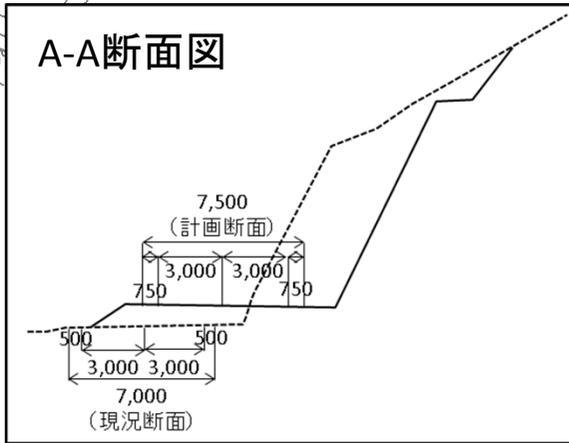
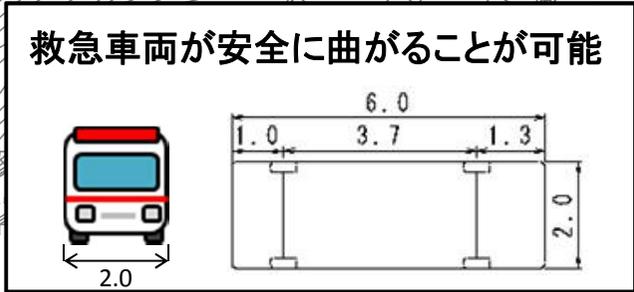
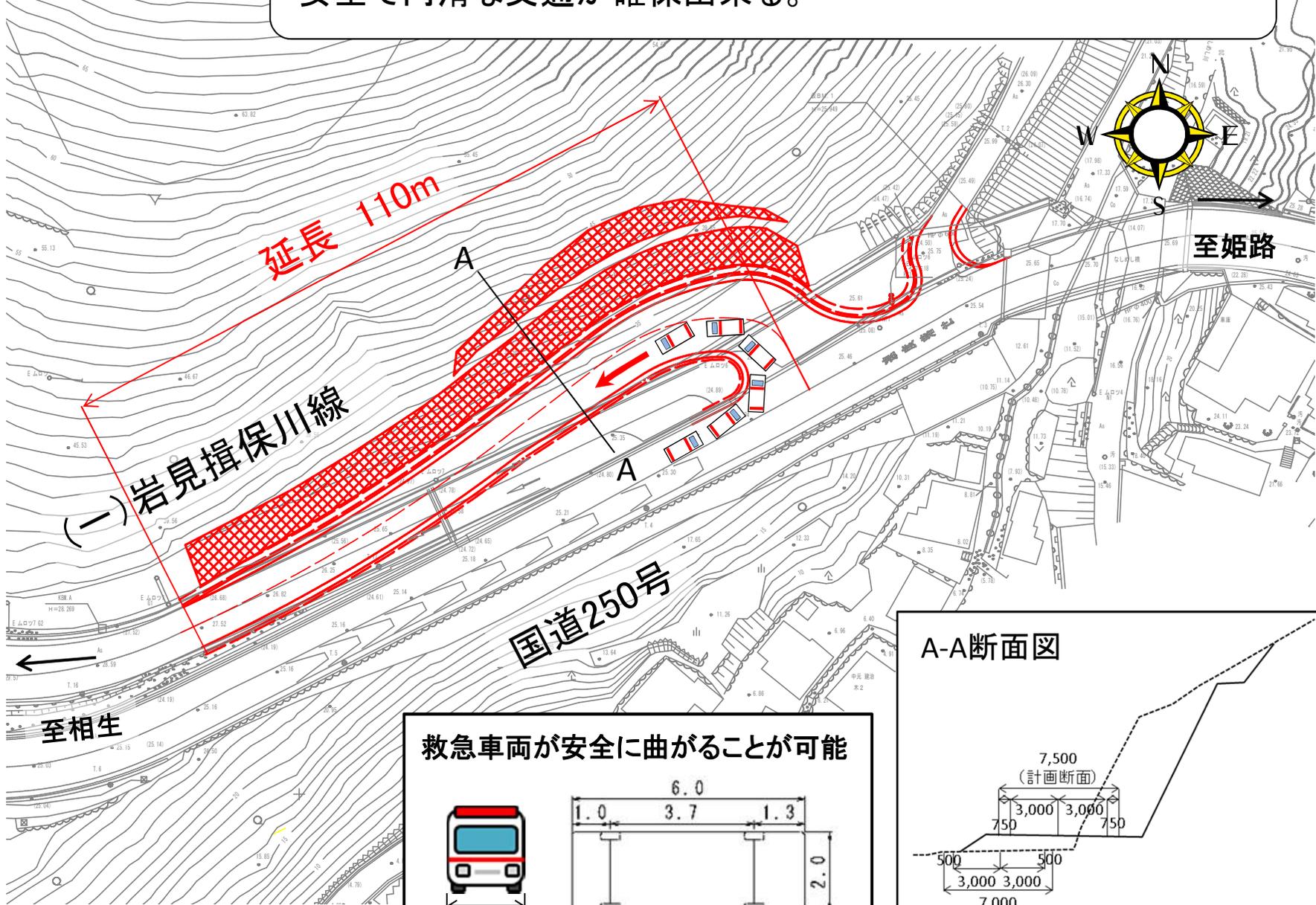
事業進捗状況概要図（継続：再評価〔第2回〕）



計画図

救急車両が、対向車線を使用せずに曲がること出来るため、安全で円滑な交通が確保出来る。

道路一4

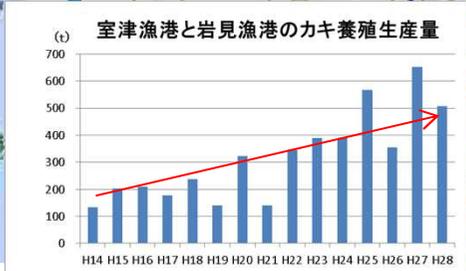


**事業の必要性
(産業・観光)**

室津漁港や道の駅「みつ」など産業拠点・観光施設へのアクセス道路としての機能を強化する。



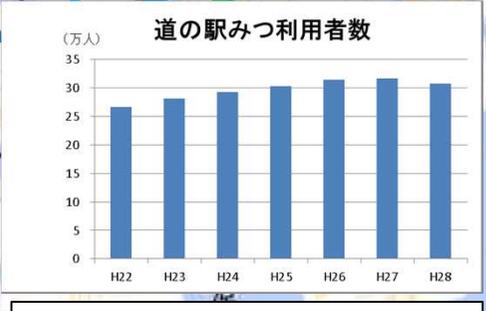
室津漁港(かき水揚げ)



室津漁港と岩見漁港のカキ養殖生産量が増加
[兵庫県水産課調べ]



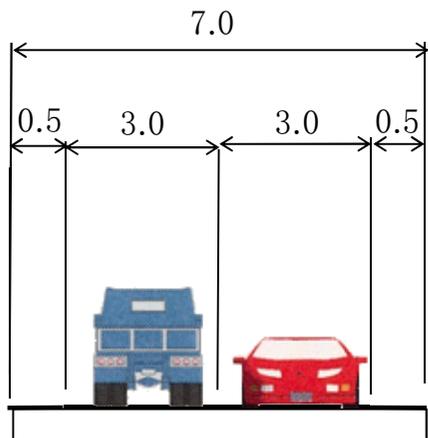
道の駅「みつ」



平成22年の開設以来、利用者が数年間25万人以上を維持
[出典:たつの市統計書]

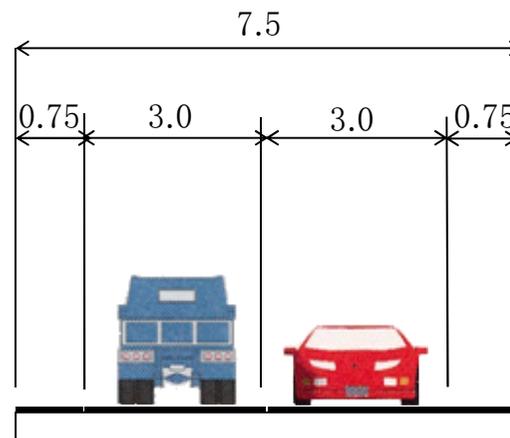
出典：国土地理院

現況断面図



単位 (m)

計画断面図



単位 (m)

■ 継続事業

前回計画及び実施・計画工程

工種	年 度															
	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30
調査・設計	■															
用地補償											■	■	■	■		
道路改良工事					■	■							■	■		■

■ : 前回計画
■ : 実施・計画